



東京学芸大学附属高等学校

男女共学 8学級規模

附属3中学から200人、一般120人、帰国子女15人

校長 羽田 邦弘（はだ くにひろ）

教育方針

- 1 清純な気品の高い人間
- 2 大樹のように大きく伸びる自主的な人間
- 3 世界性の豊かな人間



校章
泰山木(タイサンボク)
モクレン科の常緑高木

目指す教育

自ら考え、社会に貢献する 真のリーダーを育成する。



全人格教育

「知・徳・体」のバランスを重視し、生徒の『人格』を構成するすべての要素を偏りなく育てる。

自主・自律

与えられた自由の中で、自らを律する力。指示を待つのではなく、自らの意志で行動し高い規律により自己をコントロールできる力を育てる。

リーダー育成

豊かな世界性を持ち、多様な他者と協働しながら自ら課題を見つけ、探究する経験を生かして社会に貢献する人材を育てる。

カリキュラム（教育課程）

- ・ 文理のコース分けはしない。
- ・ 理科、社会を含む全ての教科・科目が必修（1・2年生）。
- ・ 3年生は進路に合わせて科目を選択。

「SSH地球科学」

「地理総合」と「地学基礎」の融合科目。フィールドワークを軸にしながら、地球やその環境・国際社会に関する課題を探究する。

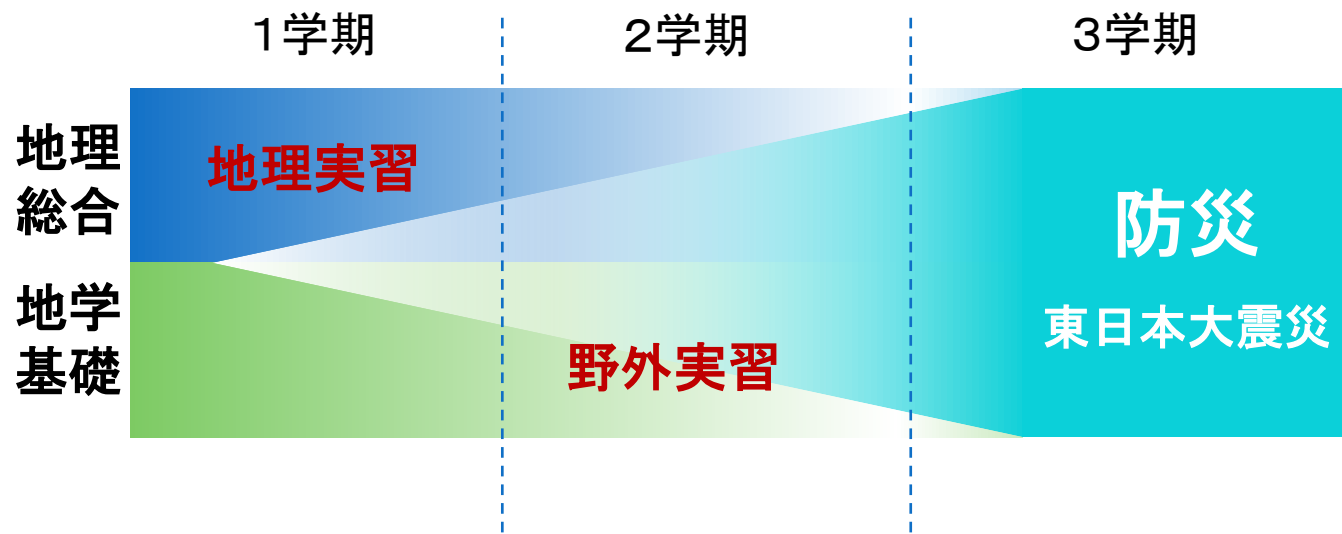


	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	31	32	33	
1年生	現代 の 国語		言語文化		歴史 総合		数学Ⅰ			数学 A		生物 基礎		体育			保健	芸術		英語コミュニ ケーション Ⅰ			論理 表現 Ⅰ		情報 Ⅰ		SSH 地球科学			SSH 探究 基礎	HR		
2年生	文学 国語		古典探究		歴史 探究		公共		数学Ⅱ			数学 B		数学 C	物理 基礎		化学 基礎		体育		保健	芸術	英語コミュニ ケーション Ⅱ			論理 表現 Ⅱ		家庭 基礎		SSH 探究		HR	
3年生	文学 国語		体育		英語コミュニ ケーション Ⅲ		論理 表現 Ⅲ		選択科目(7～22単位) 古典A/B、世界史探究、日本史探究、地理探究、政治・経済、倫理、数学Ⅲ、数学C、 理系数学演習、数学演習、物理、化学、生物、地学、理科基礎演習、選択体育、 音楽Ⅲ、美術Ⅲ、工芸Ⅲ、書道Ⅲ、家庭特講、発展SSH探究																								HR
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33

は、本校独自の学校設定教科または学校設定科目。

教科融合「SSH地球科学」（令和7年度から実施）

- 1年生の「地理総合」と「地学基礎」を融合した学校設定教科（4単位必修）
- 2つの教科が融合することにより学習の転移を促し、より深い学びを実現することを目指す。
- 授業が社会課題（探究活動の課題）にシームレスに接続し、その課題を「自分ごと」として考えるきっかけとする。



学びを生かすフィールドワーク

■地理実習

旧江戸城の外堀をほぼ一周するコースを歩きながら地理的技能の向上を図る。
（断面図の測量、土地利用調査、景観観察、等）

■野外実習

神奈川県城ヶ島にて地層を観察し、その成り立ちを考察する。
併せて探究のプロセスを実体験する。



地形模型を3Dプリンタで作成して授業で活用

段階的な探究学習プログラム

中学校 総合学習
教科横断的な学び

SSH探究（2年生）

- ・グループまたは個人による探究
- ・毎週木曜の1時間と月1回の土曜

発展SSH探究（3年生）

- ・専門的分野を深める研究
- ・学会や研究会で発表
- ・大学入試でアピール

教員によるマンツーマン
指導

「探究活動支援員制度」
により大学等の研究者が
定期的に指導

SSH探究基礎（1年生）

- ・探究の学習方法を身に付ける
- ・グループで「プチ探究」に挑戦
- ・月に1回、土曜日に4時間

成果発表（2年生）

- ・成果発表会（10月）
- ・学習旅行で英語発表（11月）
- ・成果報告会（3月に工学院大学で実施）

第70期生 加藤 豪さん

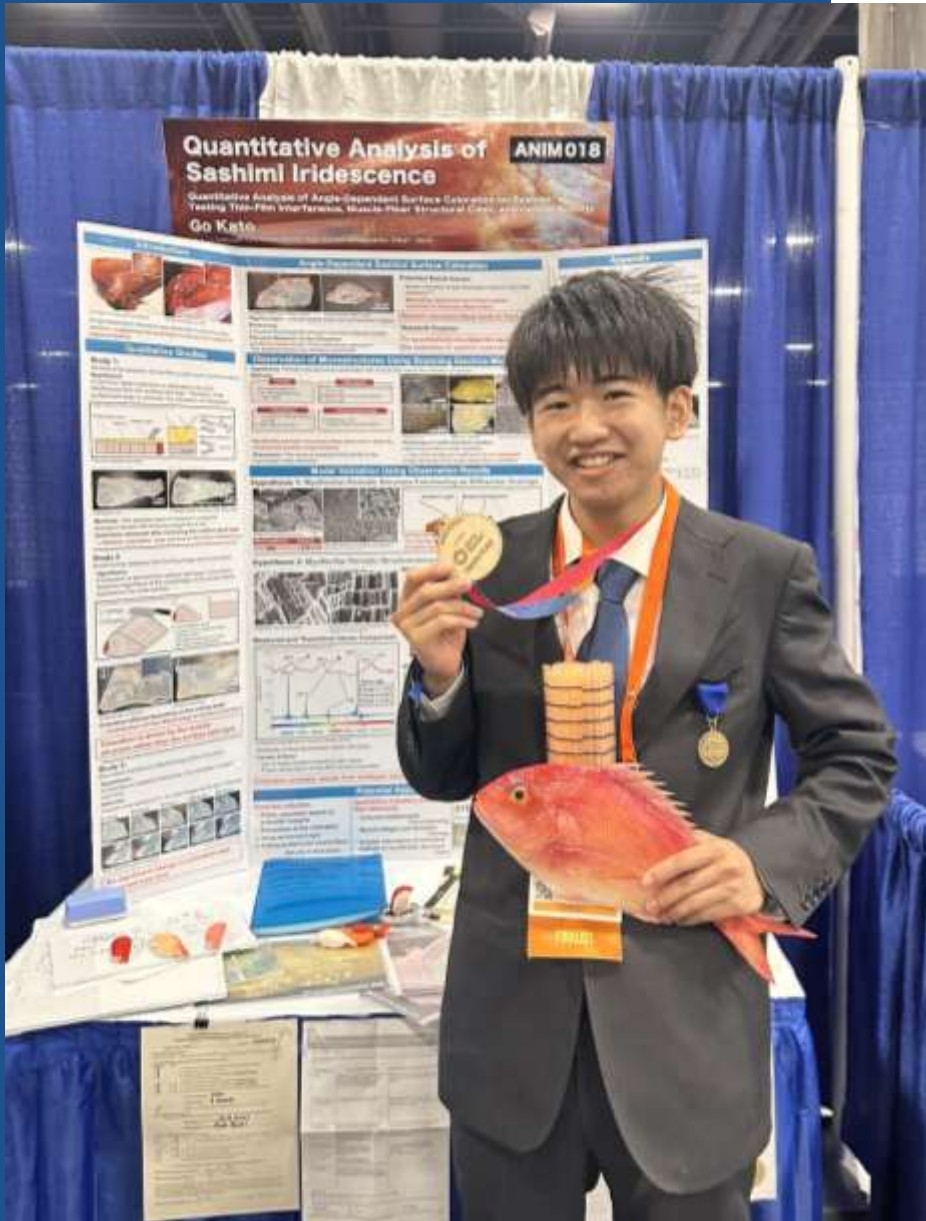
国際学生科学技術フェアISEF 2026

動物科学部門 優秀賞4等

2026/05/16 米国アリゾナ州フェニックス

Quantitative Analysis of Angle-Dependent Surface Coloration on Sashimi: Testing Thin-Film Interference, Muscle-Fiber Structural Color, and Optical Activity

「刺身断面の筋原繊維の微細構造と構造色に関する検討」



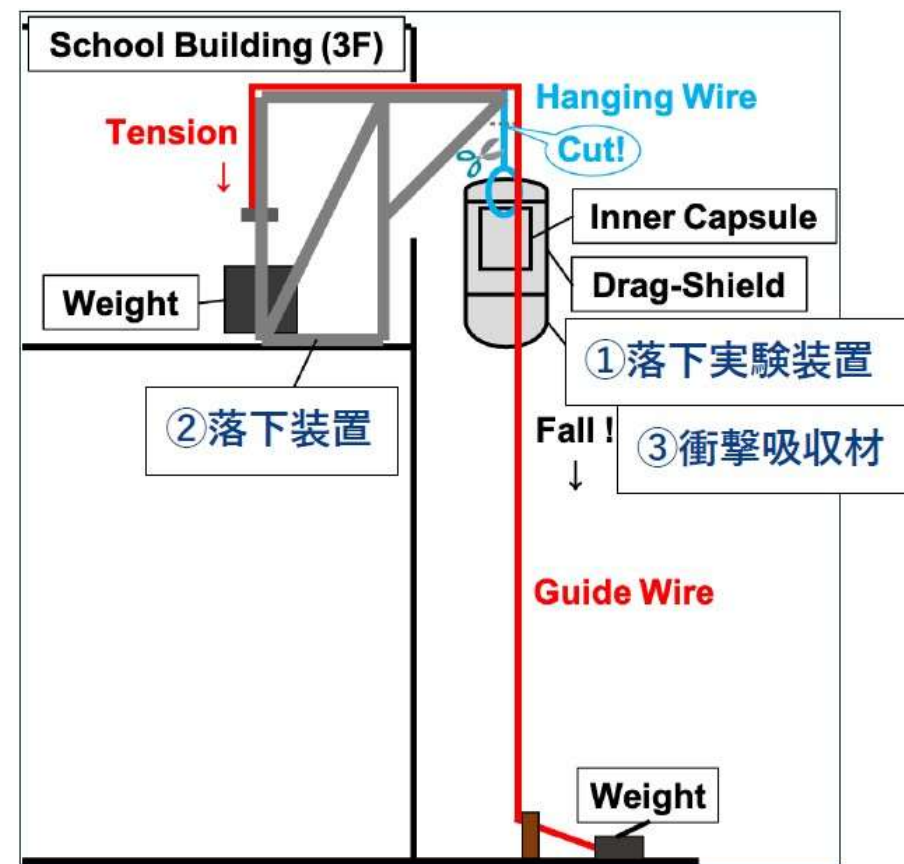
「無重力実験講座」

SSH特別授業

高校内微小重力実験システムの開発

附属学校研究会 プロジェクト研究

「宇宙教育を軸としたPBL型探究プログラムの開発」





高大連携

- 東京学芸大学

管理機関としてSSH活動全般について支援
東京学芸大学主催 課題研究成果発表会

- 工学院大学

2023年に教育連携協定、生徒発表会

- 順天堂大学

2024年に高大連携協定

「探究活動支援員制度」や「特別授業」

- ・ 東京学芸大学
- ・ 東京大学
- ・ 東京科学大学
- ・ 早稲田大学 等

探究活動発表会
令和8年3月
工学院大学(新宿)

海外との交流

タイ王国との交流実績を生かし、東南アジアから世界各地の学校との交流を推進しています。



タイ国費留学生

1975年の22期から62期まで
留学生数 135名



タイへの学習旅行

2年生の11月に4泊5日で実施
探究活動の成果を英語で発表



PCSHSCR研究交流

プリンセス・チュラポン・チェンライ校
生徒12名を派遣及び受入れ



探究に関する交流

海外の高校との共同研究
シンガポール、カンボジア、韓国など



海外留学

AFS交換留学生の派遣と受入れ
フランス、アメリカ、ドイツ、インドネシア



海外進学

TAZAKI財団奨学金による英国進学
海外大学への進学相談



プリンセス・チュラポーン・チェンライ校

- ・ 2026年は、1月11日～1月19日に訪問
- ・ 探究活動の英語発表など、希望する生徒12名を派遣
- ・ 相互に探究の成果発表、タイの文化交流、ホームステイ





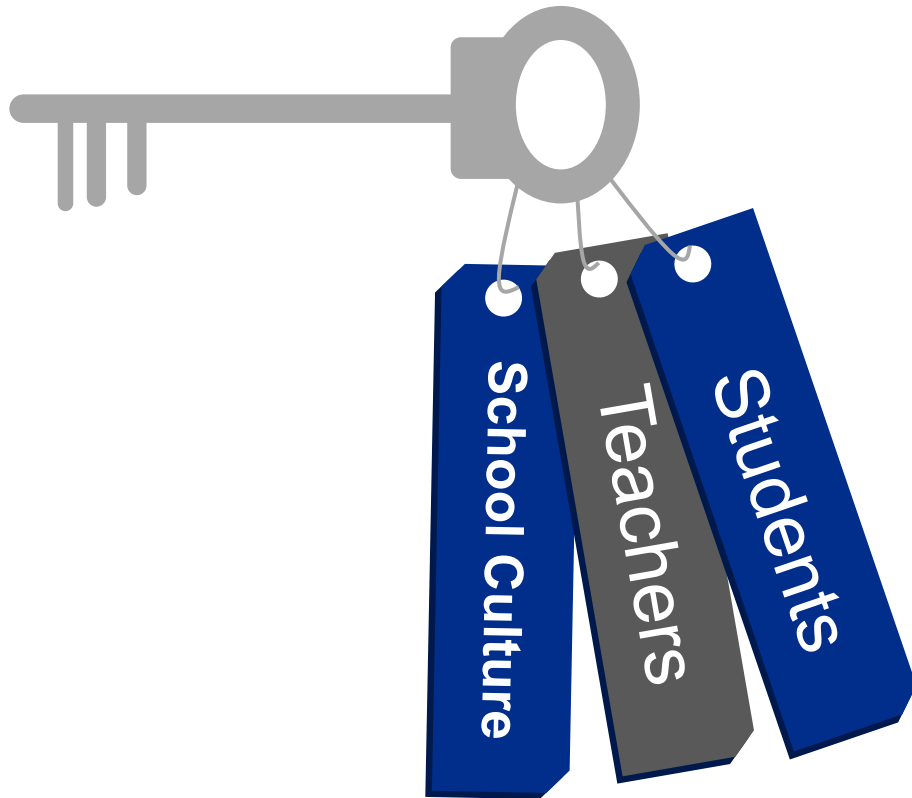
海外で学ぶ

海外留学・海外進学

進学に関する選択肢の多様化を図るため、
学校として組織的に生徒を支援します。

- 情報の収集と生徒への配信
- 校内に支援チーム(外部連携委員会、進路指導部)
- 外部機関と連携した指導
- 卒業生からの助言

『本物の教育』を実現する3つの基盤



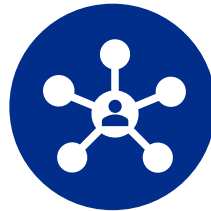
生徒：多才な才能たち

一人ひとりが異なる輝き(尖った才能や関心)を持ち、刺激し合って化学反応を起こす集団



教師：知のプロ集団

一方的に教える「先生」ではなく、生徒の知的好奇心に火をつけ、共に真理を追い求める高度な教育者



文化：自由・創造の伝統

夢中になって取り組む学校行事や部活動で継承される、伝統的な「自主・自律」の精神

効率主義への挑戦

受験勉強を超える「三位一体の教育」が、人間性を育む。

1

教科の授業

指導のプロ教師による、
受験テクニックを超え、
学問の本質を突き詰める「本物の授業」

2

探究活動

形だけの調べ学習ではなく、
論理的思考や課題解決能力が身に
付くまで徹底してやり抜く「ガチ探究」

3

行事や部活

先生がお膳立てしない、仲間と創り上げる
時間が人間性を鍛え上げる。

国立附属としての矜持

多くの高校が『効率』を求めて削ぎ落としてしまった部分にこそ、将来の社会で生きるために重要な人間性の育成があります。本校の先生たちは、それを指導し伴走できるプロフェッショナルであり、私たちはこの泥臭くも本質を突いた教育を、決して妥協しません。



教員

国立附属ならではの**研究文化**

より良い授業を目指して改善を重ね、生徒の力を最大限に伸ばすために研修や研究を重ねています。

修士 / 博士

77 %

全体の研修会・研究会

20 回以上

教育実習生を全教科で年間約200名受入れ

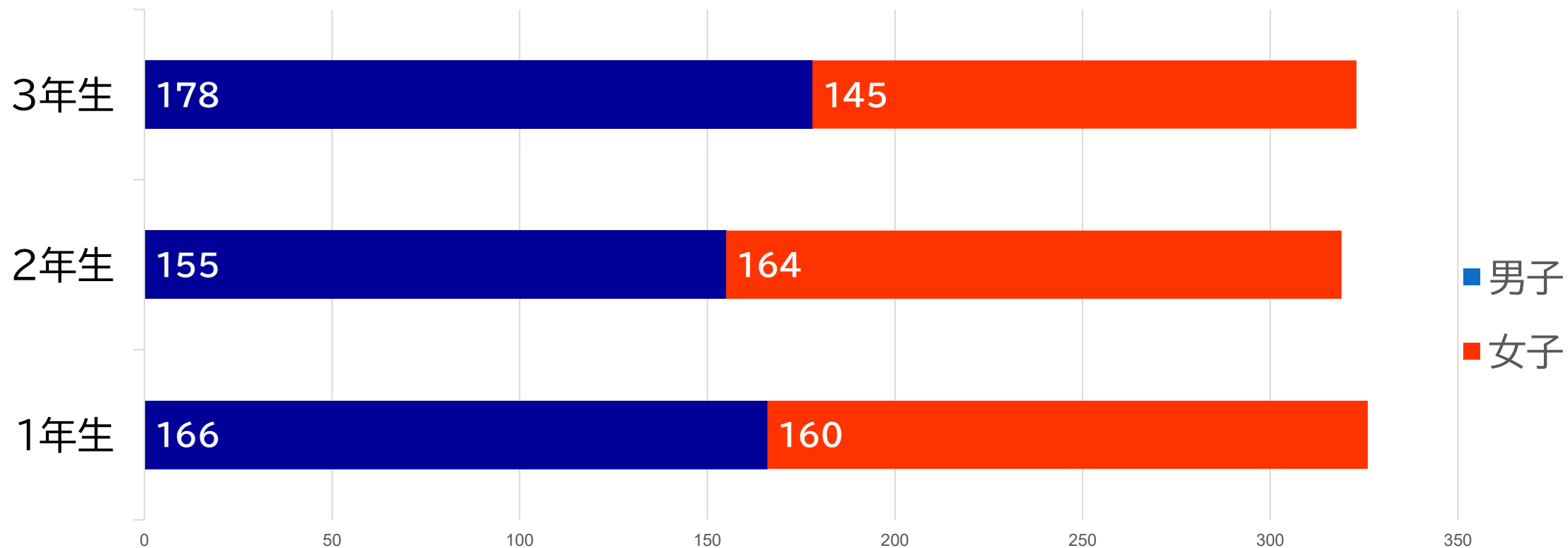
入学者選抜

	一般中学生	附属中学生	帰国生
定 員	120名程度	200名程度	15名
出願期間	令和9年1月 4日(月)から 令和9年1月14日(木)まで	各附属中学校に確認して ください。	令和9年1月 4日(月)から 令和9年1月14日(木)まで
出 願	Webによる出願	中学校に確認してください。	Webによる出願
学力検査	令和9年2月13日(土)	令和9年1月7日(木)	令和9年2月13日(土)
発 表	令和9年2月15日(月)	令和9年1月8日(金)	令和9年2月15日(月)
	「生徒募集要項」を確認してくだ さい。	中学校に確認してください。	「生徒募集要項」を確認してくだ さい。

入学者選抜の方法

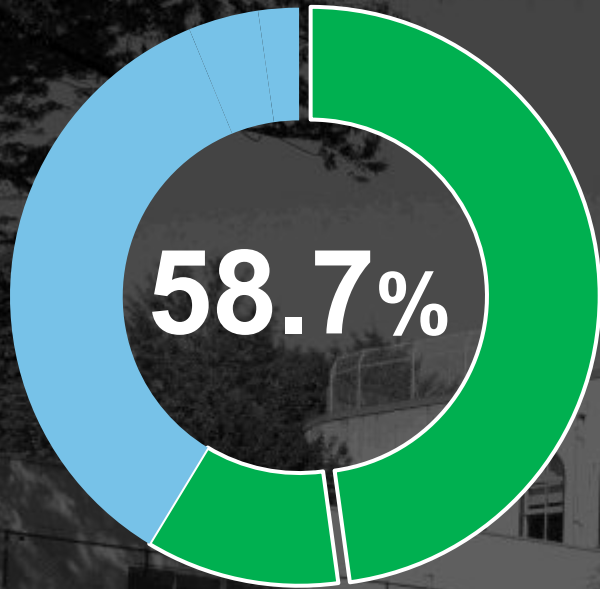
一般中学生	附属中学生	帰国生
• 学力検査(5教科各100点満点)と調査書(3年間の評定を100点に換算)を総合的に判断 • 英語はリスニング問題を含む • 基礎基本はもちろん、各教科の応用力が必要	• 学力検査(5教科各100点満点を600点に換算)と調査書(3年間の評定を400点に換算)を総合的に判断 • 入学後すぐに中学校までの基礎力確認テストあり→特に、入試で除外した単元の内容に注意)	• 学力検査(国語・数学・英語の3教科、各100点満点)と提出書類を総合的に判断 • 英語はリスニング問題を含む • 基礎基本はもちろん、各教科の応用力が必要

男女別の生徒数（令和8年度）



	1年生	2年生	3年生	計
男子	166	155	178	499
女子	160	164	145	469
計	326	319	323	968

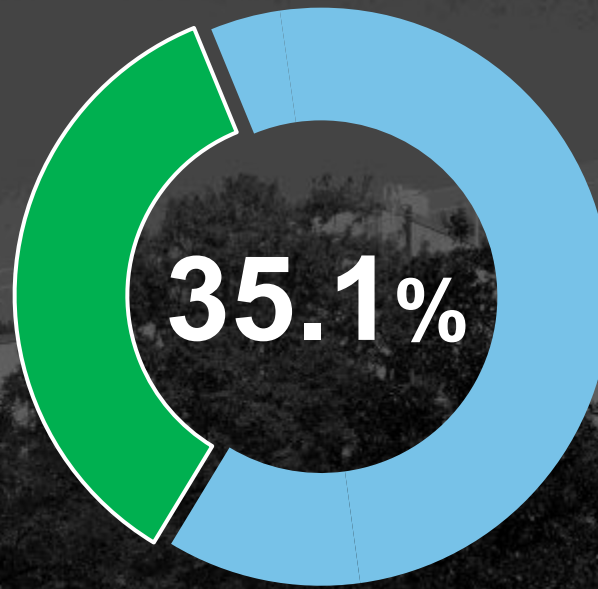
居住地別の生徒状況（令和8年度）



東京都

23区内 463人
23区外 105人

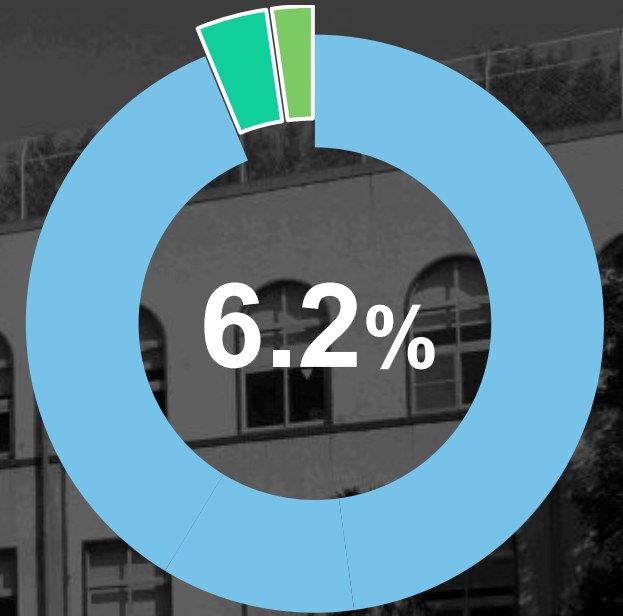
平均通学時間 58分



神奈川県

横浜市 169人
川崎市 104人
ほか 67人

平均通学時間 71分



埼玉県・千葉県

埼玉県 38人
千葉県 22人

平均通学時間 93分

校内コンビニエンスストア

- ・ 2026年5月から営業
- ・ 生徒は休み時間に利用
- ・ 生徒、教職員、保護者などを対象
- ・ 営業時間 8:00～16:30



学校説明会の御案内

※申込や実施内容の確認は公式ホームページから

1 学期 説明会

7月24日(金)

午前の部 / 午後の部

2 学期 説明会

10月3日(土)

午前の部 / 午後の部

生徒による探究活動発表会の様子
も見学できます。

2 学期 説明会

10月4日(日)

午前の部 / 午後の部

活動している部活動の様子も見学
できます。